

# 北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2015.07.No215

7月号

## 目次

第40回 一般社団法人 北海道建築士会 全道大会（紋別大会）へ “あったか〜い おもてなしで 歓迎！”……1
J5 団体紹介……………5
青年・女性の窓……………6 [青年委員会]
支部だより……………7 [日高・十勝・札幌]
information……………8
URL <a href="http://www.h-ab.com/">http://www.h-ab.com/</a>

## 第40回 一般社団法人 北海道建築士会全道大会(紋別大会)へ “あったか〜い おもてなしで 歓迎！”



- 大会テーマ 「オホーツクの四季を編む<sup>あ</sup>」
- サブテーマ ー北の建築士、季節の中で熱くなれー

第40回 一般社団法人北海道建築士会全道大会実行委員長  
一般社団法人北海道建築士会 紋別支部 支部長 **高野 昭一**

第40回北海道建築士会全道大会は、大会史上、最小正会員数39名で活動している紋別市において開催されます。「大丈夫ですか」と、ご心配の方々も多いと思いますが、5市町村で構成する紋別支部には、オホーツク管内の支部をはじめ、道東ブロック会の各支部の皆さんが強力に支えていておりますので、ご安心していらしてください。

紋別市は、人口24,000人程ですが、道内179市町村の内、16番目に広い行政区域を有しております。ですから、産業は、オホーツク海の豊かな漁場の水産と広大な土地の恵みを活かした酪農を中心とした農林、これらの素材を活かした漁業・農林畜産物の製造加工などが基幹産業となっています。

誇れるものはあまりありませんが、毛ガニ、ズワイガニ、ホタテ、サンマ、ほっけ、鮭を主とした海産物の美味さは絶品です。また、世界で初めて流水を海中見学できて、クリオネを年中見られる“氷海展望タワー”、流水を年中見て触れる“流水科学センター”は自慢です。街から飛行場、スキー場、スケート場、屋内プール、ゴルフ場、釣り場、公認パークゴルフ場などへ10分以内で行ける便利な地方都市です。

紋別市は、中心市街地の活性化など様々な課題は多くありますが、道立病院から広域紋別病院として本年4月に移転新築し運営を開始したことや、国内最大規模の木質バイオマス発電所の建設が着工したことなど、建築士は地域社会のリーダーとして活躍しています。今、建築士は、安全で、癒やしある建物や感動ある建物を創ることが求められています。感動は四季折々に見る者の心に深く染み込んで行きます。それがなにか、北の建築士が集い、初秋、あぶったイカで、雄武町の韃靼そば焼酎を交わしながら、共に熱く語り合ひましょう。

### [大会プログラム]

月 日	時 間	開 催 内 容	会 場	
9月18日 (金)	13:00~13:30	青年サミット 受付	紋別市民会館 3階「小ホール」	
	13:30~17:30	青年サミット テーマ： 『オホーツクの四季から奏でるまちづくり』		
	18:30~20:30	懇親会		オホーツクタワー 3階
9月19日 (土)	10:30~12:00	来賓・大会参加者受付開始	紋別市民会館 2階 ホワイエ	
	11:30~12:30	昼食	紋別市民会館 3階「小ホール」	
	12:30~14:30	分科会 A分科会 (女性委員会) B分科会 (まちづくり委員会) C分科会 (青年委員会)	紋別市民会館 2階「第1・第2会議室」 まちなか芸術館 1階「多目的ホール」 紋別市文化会館 1階「多目的ホール」	
		15:00~16:30	大会式典	紋別市民会館 「大ホール」
		16:50~18:00	基調講演	紋別市民会館 「大ホール」
	18:30~20:30	懇親会	ホテルオホーツクパレス 2階「パレスホール」	

## 分科会

### A分科会 素材のチカラ オホーツクの森と暮らしをつなぐ

女性委員会

雄大な自然が四季を通して様々に変化するオホーツクは日本最大の森林認証エリアです。中でも紋別地域は地域材の様々な用途活用を進め、木材を有効活用しながら森林環境の保全を促進し循環型社会の形成を試みています。A分科会では継続して取り組んでいる「素材」において、再び「木」に焦点をあて、地域利用促進のための制度を学ぶセミナーと、地域材運用の実例（北見信金紋別支店）の見学会を行う中で、紋別・網走西部流域の地産地消の取り組みや森林認証について学び、建築士が森林資源を消費者へつなぐ役割について考えていきます。

※森林認証（SGEC）とは… 適正に管理された森林から生産される木材等を、生産・流通・加工工程でロゴ・マークを付すなどして管理し、消費者に届ける制度です。

※分科会の後半で北見信金紋別支店の見学会に移動します。（徒歩10分程度）

### B分科会 波香の四季街（はこうのしきがい）

まちづくり委員会

季節が移ろうように、時間と共に街もうつろいでいきます。

一時は賑わいを見せた街の中心部も、時代の波にもまれ哀愁を漂わせながら衰退しますが、街は寄せては返す波のように、また違う形で活気を取戻そうとします。

その情景を「波香」と呼ぶことにしました。

海に面する多くの街は、かつて活気にあふれていた中心部から郊外へと発展してしまい、空洞化した中心市街地の賑わいの再生に頭を悩ませています。

しかし紋別市は、観光資源であるオホーツクの海辺で季節ごとに工夫を凝らした様々な風を起こし、中心市街地に活気を運び込んでいます。

今回は、まちあるきを通してその「波香」を肌で感じ、中心市街地の再開発への足掛かりを探っていきます。

過疎と高齢化社会への対応も思い描きつつ、郊外と中心部がそれぞれの賑わいを互いに共有できるよう、街の魅せ方を一緒に考えていきませんか？

※バスでの移動のため、500円の参加費が必要となります。

大会当日の参加受付はお受けできませんので、大会参加申込書に記載の上お申込みください。

### C分科会 まちなかで考える 地域コミュニティと空き家 ～建築士としてできること～

青年委員会

近年、社会問題となっている空き家問題。市民生活の安心・安全の面から不安視されています。ここ紋別市も少子高齢化等により人口減少傾向にあることから、さらに空き家は増加していくものと思われます。C分科会ではこの空き家問題に焦点をあて、空き家の現状や課題、そしてその対策や施策を学ぶとともに、地域コミュニティの活性化に繋がる空き家の有効な利活用方法を模索し、建築士として何ができるかを考えていきます。

## 大会当日「号外」を発行します！

見たかったあの場面、聞いたかったその台詞、舞台の裏まで載せちゃいます！  
足取り軽くオホーツクで熱くなる。情報委員会、号外を配布します。

ご期待ください。

基調講演

テーマ：『ニセコ斜めの家・始末記 ー豪雪と酷暑とともにー』



講師：建築家 倉本 龍彦

北海道を代表する建築家。1968年に武蔵野美術大学造形学部建築学科を卒業し、1971年に倉本GD計画室を設立後、1984年から倉本たつひこ建築設計室を設立。また、1971年に設計し、北海道ニセコ町に建設された「ばあちゃん家」は、パリの三大美術館といわれる、ポンピドゥーセンター・フランス国立近代美術館より、鑑賞力を有する優れた作品と評価を受け、その設計図面は美術館に収蔵され特別展等で展示されている。1979年から道都大学美術学部建築学科において講師を努め、助教授、教授を歴任。旧紋別キャンパス及び現在のキャンパスで教壇に立たれ、建築家を志す学生達に大きな影響を与えた。

現在、同大学建築学科名誉教授。／1946年 札幌市生まれ。69歳

■メディア出演：2003年 大改造!! 劇的ビフォーアフターに「匠・寒冷地住宅の開拓使」として出演

青年サミット

「オホーツクの四季から奏でるまちづくり」

■テーマコメント

紋別はオホーツク海に面し、豊かな自然に恵まれており、四季のうつろいを感じられるまちです。

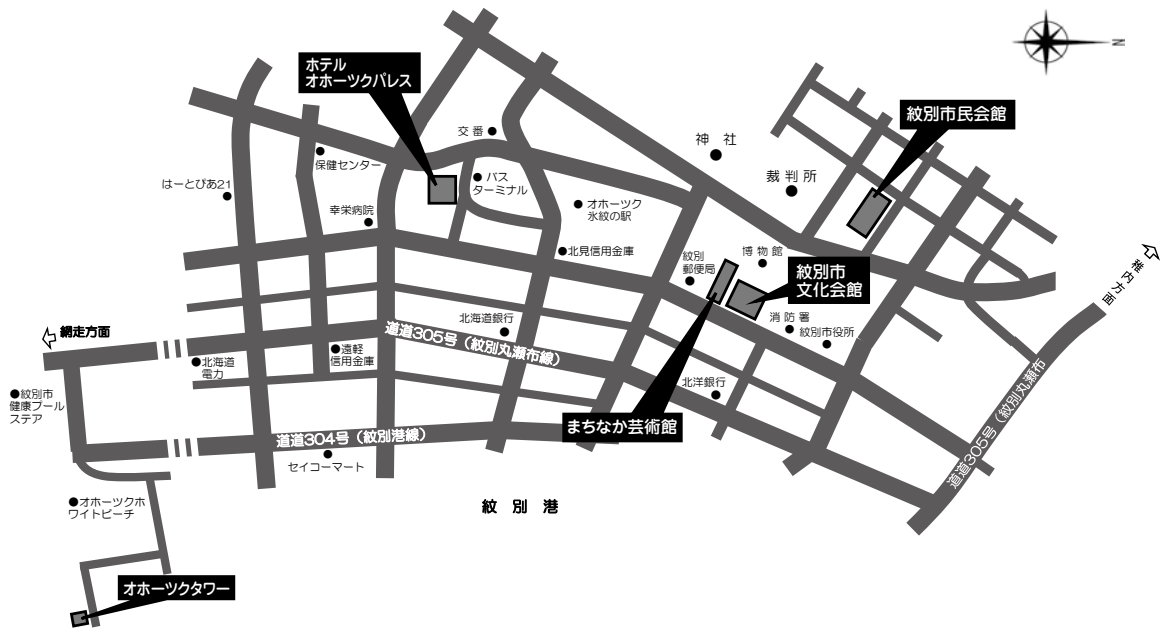
しかしながら、紋別市の人口は減少を続けており、中心市街地には空き地、空き家、空き店舗が目立ち活気が失われつつあります。それに対して、紋別市は中心市街地の活性化のため「紋別市まちづくりビジョン」を策定。そして、今年には「都市計画マスタープラン」を策定し、将来的なまちづくりの取り組みがされ始めています。

我々青年建築士は、現在の紋別を肌で感じ、オホーツクの四季を通して、これから未来へ継いでいく魅力的なまちづくりとは何かを話し合い、考えます。

■プログラム

- 13:00～13:30 ■受付
- 13:30～14:00 ■挨拶・説明
- 14:00～15:30 ■まち巡り(バス移動)
- 15:30～15:50 ■休憩
- 15:50～17:00 ■ワークショップ
- 17:00～17:30 ■発表(総評・感想含む)
- 18:30～20:30 ■懇親会

第40回全道大会（紋別大会）会場ご案内



<p>■本大会・基調講演会場 紋別市民会館</p>	<p>■分科会会場 A分科会：紋別市民会館 B分科会：まちなか芸術館 C分科会：紋別市文化会館</p>	<p>■青年サミット会場 紋別市民会館</p>
<p>■懇親会会場 ホテルオホーツクパレス</p>		<p>■青年サミット懇親会会場 オホーツクタワー</p>

## 第40回 (一社)北海道建築士会全道大会 (紋別大会) 参加申込書

	所属支部名	支部
ふりがな	ふりがな	
氏名	同伴者	
住所	〒 - TEL ( ) - FAX ( ) -	
勤務先	〒 - TEL ( ) - FAX ( ) -	

月日	行事項目	参加行事に○印を記入		参加料・代金 /人	金額	備考
		本人	同伴者			
9月18日(金)	青年サミット			/	/	
	青年サミット懇親会費			5,000円		
9月19日(土)	大会参加費			4,000円		
	A分科会					
	B分科会			500円		(バス代)
	C分科会					
	基調講演					
	大会式典					
	昼食(弁当)			1,000円		
	懇親会			5,000円		
<b>■ 各支部への申込締切りは8月17日(月)を厳守願います。</b>				合計金額		
上記のとおり、関係費 <input style="width: 100px;" type="text"/> 円を添えて申し込みます。						平成 27 年 月 日
[備考] <p>◎B分科会は、バスでの移動のため、大会当日の参加はお受けできませんのでご了承ください。                  バスの乗車には、今回お申し込みされた方に大会当日受付でお渡しする「チケット」が必要となります。</p> ◎大会参加費は、大会参加者全員(青年サミット参加者含む)に納めていただきます。 ただし、会員外の同伴者の大会参加費は免除いたします。                 ◎関係費は、前納制とさせていただきますので、所要事項を記入し、費用を添えて各所属支部へ申し込んでください。                 ◎申し込みの取り消し及び変更は、8月28日(金)までとし、8月29日(土)以降の取り消しは返金できませんのでご了承ください。                 ◎申込用紙は1名につき1枚、同伴者は連名にて料金を加算してください。(申込用紙はコピー可) <p><b>■大会の宿泊については、各自でお手配ください。</b></p>						



## 公益社団法人になって、変わる事変わらない事

(公社)日本建築家協会北海道支部 支部長 上遠野 克

### ■ J I A 建築家大会2013北海道

(公社)日本建築家協会北海道支部では、2013年9月、17年ぶりのJ I A建築家大会を札幌を中心に開催しました。公益社団法人になって初めての全国大会となり、従来の会員を中心とした大会から、より市民に開かれた大会とすることが求められました。

全国からの会員と市民が同じ問題を共有出来る場として、チカホを中心に4つの全国セミナーと4つの北海道に視点をのせたシンポジウムを行いました。

「地域に寄り添う建築家の災害復興支援とまちづくり」「災害対策の普遍性と地域性」「リビングヘリテージ建築を使い続ける意義と課題」「省エネルギーから生エネルギーへ」「アイヌの建築文化と北海道の住まい」「アジアが、北海道の未来を拓く」という、グローバルな問題でありながらローカルな視点を必要とされるテーマを多くの市民の参加のもと議論し、共有することが出来ました。



### ■ 北海道建築展2015

今年1月22日から25日までの4日間、札幌駅前通地下歩行空間北3条交差点広場で模型と作品パネルの展示を中心に、基調講演と3回のセミナーを開催しました。街づくり・環境・住まいのこれからの在り方を、広く市民と共有する場を作る目的で企画した建築展でしたが、市民参加型の3回のセミナー、

2回のワークショップを通し、多くの市民の参加を得ることが出来ました。また、模型の展示とワークショップには、子供達が興味をもって多数参加し、次世代への建築街づくりの楽しさを伝える事が出来ました。今回の建築展を3年毎に開催することになり、3年間の支部活動の集約と公益活動の軸になるように規模、内容等についても再考を進めています。



### ■ 公益保護と公益寄与に向けて

J I Aでは「正会員は全員登録建築家に！」というスローガンで、正会員全員のスキルアップを目指しています。2年前に公益社団法人に移行し、改めて公益性を担保する社会的責任が生まれました。そのためには会員の資質を高め公益性を確保する事が要求され、登録建築家以外の会員にも、U I A (国際建築家連合)の規範となっている専門能力の確保のためのC P D (継続職能研修)取得が必要との考えです。今後2年間をかけて、正会員のスキルアップに取り組んでいきます。

### ■ 建築専門家団体 J 5

J 5の一員として、国家資格を超えての独自の認定資格を、自己研鑽を積みながら、社会に説明していく必要があると考えています。

## 青年委員会

### 「新幹線が夢を運ぶ!! 倶知安のまちを考えよう」

道央ブロック長  
石塚 尚也



青年委員会では、青年会員の交流や知識の向上を目的に「青年建築士の集い」を開催しています。今年は、去る5月16日に倶知安町にて開催しました。参加人数は一般参加者40名を含めた約100名で、キーワードは、ずばり「新幹線と倶知安のまち」です。

北海道新幹線は、新青森～新函館（仮称）間の工事が平成17年5月に着工し、本格的な建設整備が進んでいます。そして平成42年度に札幌延伸が実現することとなり、倶知安町に新幹線駅ができることが決定しました。現在、倶知安町では、新幹線駅の開業効果を最大限発揮できるように、将来を見据えたまちづくりに取り組んでおり、各所でワークショップ等が行われています。

#### ■「新幹線駅」でワークショップ

今回の青年建築士の集いは、実際に倶知安町で生活している町民の方々（JC・商工会・商店街・町議等まちづくりに関わる方々）を招いて、「倶知安町の現状とこれから」について、「新幹線駅」をキーワードに、みんなで考え・話し合うことを目的としました。あくまで、結果・結論を求めるのではなく、現状把握と今後の目標等について、町民の方々とざっくばらんな話をする…ということに主眼を置きました。これは、今回のワークショップをきっかけに、新幹線駅が完成するまでの間、

我々建築士会が地域の皆さんと色々な話をしながら、倶知安町のまちづくりに関わり続け、お手伝いをさせていただくことの第一歩であることを前提と考えたためです。

まずは、倶知安駅周辺のまちなみを体感するために、「まち探索」を行いました。この道中では、今回のパネルディスカッションのパネラーとしてご参加いただいた株式会社NACのロス・フィンドレー社長（ヒラフをオーストラリアにPRし、海外の方々と賑わう現在のヒラフを創り上げた第一人者）が駅の中で営むスキー工房も見学しました。スキーが出来るまでの工程や、現在のニセコのスキー事情等について、大変楽しいお話しをしていただきました。



#### ■まちを探索して感想を…

午後のワークショップ会場であるヒラフ地区（ヒラフスキー場の麓）に向けて車を走らせる中、どんよりと雲がかかっていた空もだんだんと少なくなり、少しずつ羊蹄山が顔を出します。

冒頭、針ヶ谷青年委員長と高野会長の挨拶のあと、まずはじめに午前中に行った「まち探索」の感想を直感的に一言で各自ポストイトに記入してもらいました。やはり「ひとけがない」「寂しい」「空き地が目立つ」などのマイナスな意見が多いなか、「山がきれい」「しずかで落ち着いている」等の意見もありました。

続いて町民の皆様を交えてワークショップ（30分程度×3協議）

を行いました。倶知安町の現状や問題点、新幹線駅が出来るということ、これからのまちづくり…等について、さまざまな意見が飛び交い、ざっくばらんな話し合いが出来ました。



#### ■関わり続ける第一歩

続いてパネルディスカッションを行いました。パネラーは下記の4名様です。

- ◆西江栄二様（倶知安町長）
  - ◆本田哲様（観光協会会長）
  - ◆ロスフィンドレー様（NAC）
  - ◆佐藤裕様（町内会連合会会長）
- 西江町長からは、新幹線駅プロジェクトの全体的なスケジュールや、総合的なビジョンについて、本田会長からは、倶知安の観光の歴史や今考えていることについて、フィンドレー社長からは、ヒラフ地区の現状とこれから、佐藤会長からは、高齢者にやさしいまちづくり等のお話しをいただきました。タイトなスケジュールの中、とても楽しいお話しをいただきました。



前出のとおり、今回の試みの目的は「建築士会が倶知安町に関わり続ける、まずは第一歩目」です。これから私たち建築士がどのように関わり続けていくのか…ということについて早急に具体案を検討し、行動に移していかなければなりません。わずかでも力になれるように。

## 日高支部 新幹線が夢を結ぶ!! 一方で…

青年委員長  
森 勝利



5月16日、倶知安町で開催された青年建築士の集い（後志大会）に参加し、「くっちゃん・しんかんせん・まち」というテーマで、青年建築士の仲間はもとより、地元の方々も交えた楽しく有意義なワークショップを行ってきましたが、平成42年度までに札幌への北海道新幹線の延伸が決まり、新たなまちづくりへの期待に胸を躍ら

せている地域がある一方で、私どもの地元、国内で唯一、馬と太平洋の車窓を楽しむことのできる日高本線は、高波による線路被害で一部区間の列車の運休が続いています。海と崖に挟まれた被害区間は、冬期間の工事が難しく、復旧費は、最大で約57億円、最小限の工事でも26億円要すると試算されており、この間、度重なるトラブルへの安全対策に要する費用が経営を圧迫する中で、JR北海道単独での復旧は難しいとの判断が下されていますし、加えて、最短で

も4年以上は、バスによる代行運行を余儀なくされると発表されています。公共交通に頼っている高齢者もさることながら、最も被害をこうむっているのは、列車で通学している高校生です。一日も早い復旧を願うばかりです。



## 十勝支部 職人の世界

専務理事  
三日市則昭



前職を退職して、帯広塗装工業協同組合（以下、組合）にお世話になり5年目となります。ようやく組合の職員として、組合員の皆様にご迷惑を掛けず仕事をこなしていると自負(?)している、今日この頃です。

組合に入り、今まで字面での理解しかしていなかった職業訓練校や技能士検定試験の内容に触れる機会が多々あり、職人の世界を垣

間見て、改めて建物は職人が作り上げているのだと実感しています。しかし、資格制度の違いにより、建設業での重用の仕方の違いが、今日問題となっている職人不足を招いているように思います。

建築士、施工管理技士は国土交通省が所管していますが、技能士は厚生労働省が所管しています。建築士法や建設業法では、施工するにあたり、現場に設計監理や管理技術者の資格を有する者を必置しなければなりません。仕上げをする塗装工、躯体を立ち上げる型枠工、鉄筋工等の職種に対して

は特に求めています。職人になるために、働きながら訓練校に通い、施工経験を積んで1級技能士や2級技能士の検定試験を受けて国家資格を取得しても、現場で求められていないとなるとモチベーションが下がります。しかし、現場で必置の資格となると、賃金体系も向上します。そのことにより、職人の世界に入る人が多くなると思われます。まずは、われわれ建築士が現場に技能士の資格者リストの提出を求めましょう!

## 札幌支部 恒例ビールパーティーと会員増強特別委員会

副支部長  
内海 純一



「建築士の日」に合わせて毎年開催しているビールパーティーが、この会報が皆さんに発送される7月1日に行われます。夕方から立食ビール飲み放題で例年600人以上の方がビールで喉を潤しますが、会員以外の方も多く参加されます。皆さんをお迎えするホールには、札幌支部の各実行委員会の活動案内パネルを展示予定で

す。昨年11月に立ち上げた会員増強特別委員会では、会員数増に向け色々な手法を検討中ですが、ビールパーティーも一役を担えればと委員会パネル展示を今年初めて行います。

この特別委員会は、新規入会者を増やすのと同時に、退会者数を抑制し、3か年計画で一割アップを目標に会員数を増やす取り組みをしています。委員会メンバーは各委員会から職域や年齢等が偏らない様広く推薦をいただきました。支部ホームページの改善、カー

ドやパンフレットといった入会案内ツールを作成し、これを活用したキャンペーンを学生・教員・他団体会員などを含む未加入資格者へ行ってはどうか、入会特典を付けることは出来ないか等、模索中です。時間の掛からないことから順次実施していく予定です。

また今後の支部活動予定は、7月4日景観バスツアー（北区）、7月15日建築士カフェ塾、7月18日ゴルフ大会、と計画していますので、活動の詳細はHP等をご覧ください。

## 道士会の動き

### 道本部の主な会議報告（6月）

- ◆第2回被災地応急支援特別委員会  
（開催日）6月13日（土）  
（議題）  
1）机上訓練報告（道央ブロック）小樽開催について  
2）ネットワーク登録アンケート回収について
- ◆社会貢献に関する検討会議（青年委員会）  
（開催日）6月20日（土）  
（議題）  
1）「社会貢献活動」に関する取り組みについて

### 道本部の主な行事予定（7月）

- 6日（月） CPD・専攻建築士審査評議会
  - 25日（土） 第2回総務委員会
  - 26日（日） 第2回女性委員会
- 第5回まちづくりフォーラムin江差  
■ 7月18日（土） 13：30～17：00  
女性建築士の集いin室蘭  
■ 7月25日（土） 14：00～16：30  
二級建築士試験（学科）  
■ 7月5日（日） 札幌市・室蘭市・旭川市・北見市・帯広市・函館市・釧路市  
一級・木造建築士試験（学科）  
■ 7月26日（日） 札幌市・北見市

### 関係機関等会議出席状況（7月）

- 7日 CPD専攻建築士制度委員会WG 高野会長出席
- 14日 災害対策特別委員会 高野会長出席

## 建築専門団体 J 5 公共建築設計者情報システム (PUBDIS) に採用決定！

（一社）公共建築協会が運営する「PUBDIS」における技術者情報の検索対象項目として専攻建築士をはじめとした J 5 の各資格が採用されました。

PUBDIS……公共発注機関が設計者を選定する場  
合において計画する施設の概要など建物に関する業務の実績情報等をPUBDISのデータをもとに条件検索し、プロポーザル方式などにより設計事務所を選定するための資料として利用することを想定しているシステムです。

## 編集後記

早いもので今年も半分が過ぎ、一年で最も日の長い季節となりました。会員の皆様におかれましては、忙しい毎日をお過ごしのことと思います。

さて、今号は全道大会の案内です。昨年担当しました支部の一員として忙しくも充実した日々を懐かしく感じております。今年はおホーツク紋別大会。美味しいものがたくさんあります。是非とも、多くの皆様に御参加いただきまして大会を盛り上げましょう！

情報委員会 齋藤 勝哉

## CPD認定プログラム(6月認定)

- ◆「建築士による家庭科住教育出張講座」建築士向けセミナー  
・旭川会場  
《日程及び会場》8月8日（土） 14：00～16：30  
旭川市障害者福祉センター  
《単位数》 3単位  
《問合せ先》 北海道建築士会 TEL 011-251-6076
- ・札幌会場  
《日程及び会場》8月1日（土） 14：00～17：30  
8月5日（水） 14：00～17：30  
札幌市教育文化会館  
《単位数》 3単位  
《問合せ先》 北海道建築士会札幌支部 TEL 011-232-1843
- ◆札幌の景観バスツアー～北区編～  
《日程及び会場》7月4日（土） 9：30～17：30  
札幌市北区  
《単位数》 4単位  
《問合せ先》 北海道建築士会札幌支部 TEL 011-232-1843
- ◆女性建築士の集いin室蘭  
《日程及び会場》7月25日（土） 14：05～16：30  
室蘭駅 他  
《単位数》 2単位  
《問合せ先》 北海道建築士会 TEL 011-251-6076
- ◆第5回まちづくりフォーラムin江差  
《日程及び会場》7月18日（土） 13：30～16：45  
江差町壺番蔵  
《単位数》 3単位

開催日が決定になりました。

## 平成27年度 建築士定期講習 開催予定

※詳細は、8月号にてお知らせします。

受付開始予定8月3日～（第二期は受付中）

	開催地	開催日
第二期	札幌市（受付中）	8月27日（木）
第三期	北斗市	10月14日（水）
	帯広市	10月22日（木）
	札幌市	11月18日（水）
	室蘭市	11月19日（木）
第四期	旭川市	11月27日（金）
	釧路市	2月17日（水）
	北見市	2月26日（金）
	苫小牧市	3月3日（木）
	札幌市	3月16日（水）

情報委員会委員長／神田 光英  
副委員長／齋藤 勝哉・早川 陽子・森 勝利  
委員／高松 徹・熊谷 智・柳山美保子  
鈴木 雅人

## 北海道建築士 No.215号

印刷 平成27年6月／発行 平成27年7月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会  
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地  
大五ビル  
電話 (011) 251-6076番  
URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎  
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目  
電話 (011) 811-7151番